

http://www.minamih.net/



13・3・9(土)
南NEWS NO70



左の写真は3月4日午前中、由井三小で砂撒き・整地をしているところです。コーチのみなさん・お家のみなさんが協力して作業をしてくださっているのです。お疲れ様でした。本当に有り難うございました。



南招待3年生白チームの結果 2月23日 文化大G

○めあて ドリブル中心で、逃げのパスをしない
抜かれてもあきらめないで、取り返しに行く

○達成度
技を使ったドリブルで相手をぬいたり、ボールをしっかりとキープしていた。パスはほとんどせずにはいたが、たまに相手のボールを蹴ってしまうことがあった。前半の方は寄せを早くして取りに行っていたが、疲れだすとあきらめてしまい振り切られる場面が多くなったのは残念だった。

第一試合結果：	対	富士見丘	0 vs 3	(0 vs 1)
第二試合結果：	対	白百合	1 vs 6	(1 vs 3)
第三試合結果：	対	陶鎔元八	0 vs 8	(0 vs 3)
四位試合結果：	対	愛宕	0 vs 6	(0 vs 4)

○コーチ所見

1試合目の前半は防戦一方でしたが、皆がしっかりと素早いアプローチをして相手の好きなプレーをさせないで、ゴールを守っていました。2試合目も前戦同様防戦することが多かったですが、しっかりしたドリブルでの攻撃もでき、相手陣地での早めのアプローチでボールを奪いシュートをし本日の唯一の得点(先取点)も取れていました。3試合目は、疲れが出始めたのか集中力がなくディフェンスの意識がなくなり、カウンターを簡単にさせてしまっていた。本日最後の試合の4位パートでの試合は、前戦より守備の意識が戻り抜かれても即座に守備をすることが出来るようになった。

今大会は、7人制の交代要員がいなく全員がフルで最後まであきらめずに戦い続けていました。特に神戸君は攻守共に走り回り、2戦目では角度の無いところからシュートを打って先取点をもぎ取りました。松林君は足裏でボールをコントロールしキープしたり、怖がらずにヘディングをしてクリアをしていました。隅田君は守備時にゴールキーパーの後ろまで回ってゴールを死守してました。関矢君はシザースにチャレンジして相手を抜き取り、米蔵君は体をはってボールを奪い取ろうとし、黒澤君は相手に裏を取られないようなポジションを意識しながらプレーすることにチャレンジしていました。結果は残念ながら最下位でしたが、個々の力を出し切って戦っているのが、今後の成長がとても楽しみです。

b y 小笠原コーチ

南招待3年生白チームの結果

○めあて 技・ターンを使ってドリブル突破 素早いアプローチ。コーチング。

○1試合目：南八王子0-3西原 前半0-1

1試合目はポジションを意識し過ぎてしまったため、チーム内でのフォローやカバーが出来ていない場面が多々ありました。

また、相手チームの素早いアプローチや強い当たりに、ドリブル突破やシュートを打つまでいく事が出来ずに試合終了となってしまいました。

○2試合目：南八王子1-2愛宕 前半0-1 得点者：坂本君

2試合目からは、皆が積極的に技・ターンを使ってドリブル突破を試みていました。また、フォローやカバーも出来ており、古積君の相手を抜いてのドリブル突破からのシュート。そして、小笠原君のドリブル突破をフォローしていた坂本君のゴール。

惜しくも負けてしまいましたが、南らしさを出す事の出来た試合でした。

○3試合目：南八王子4-3青梅 前半2-1

得点者：小笠原君(2)、坂本君、古積君

3試合目は、南らしさを存分に発揮していました。

小笠原君のドリブル突破と直接FKからのゴール。坂本君の相手ゴールキックをインターセプトしてゴール。そして小笠原君のコーナーキックを相手キーパーがクリアしたところを古積君が詰め込んでゴール。

皆が積極的にドリブル突破をし、自分がゴールを決めてやるという闘志を感じる事ができた試合でした。

○4試合目(順位戦：3位パート)：南八王子2-0白百合 前半1-0

得点者：小笠原君、大澤君



4試合目も皆が積極的にチャレンジし、自然と皆がコーチングしている集中力のあった試合でした。そして個人だけではなく、チームの成長も感じられ、3年生の中で最も良い試合だったと思います。

小笠原君のドリブル突破でのゴール。コーナーキックのこぼれ球を拾った大澤君のゴール。

何度かピンチもありましたが、高田君のスーパーセーブ。西條君、小松君、豊嶋君も攻守で活躍してくれ、日頃の練習の成果を発揮してくれていました。

個人としてもチームとしても、どんどん成長していますが、まだまだ成長できます。もっともっとチャレンジし、来年は優勝を目指してGAMBAROう！！

b y 大澤コーチ

3年生までのだんごサッカーの徹底が、その後の学年で全員攻撃・全員守備が可能になり、常に数的優位が保てるコンパクトなサッカーが展開できるようになるのです。3年生の2チームはだんごサッカーができていましたよ。

右・左のどちらの足でも蹴ることができて、ドリブル・ターンがしっかりできる、ボールを取られたら取り返すまで追う選手になってほしいのです。

b y 南のアンパンマン